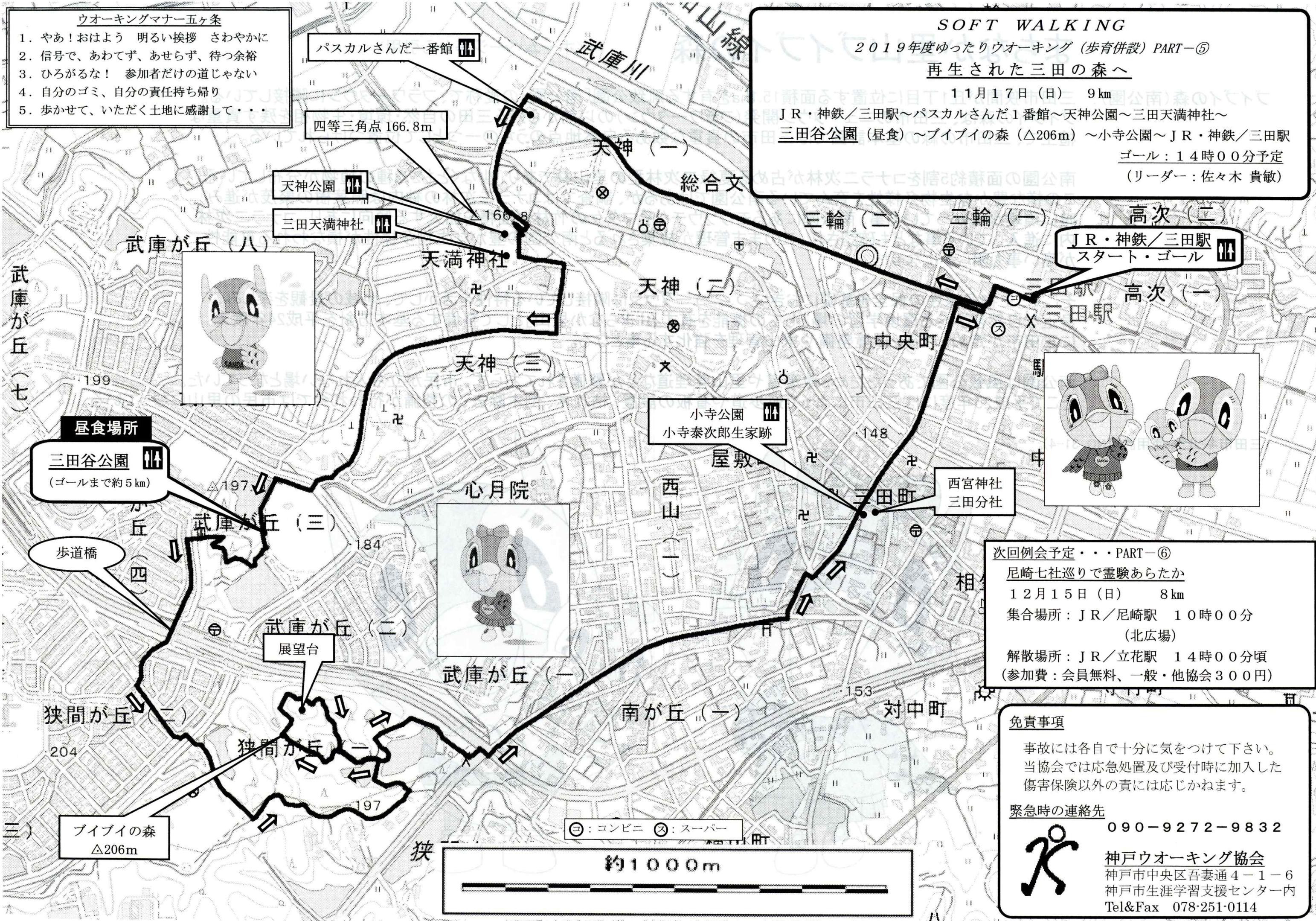


### ウォーキングマナー五ヶ条

1. やあ！おはよう 明るい挨拶 さわやかに
2. 信号で、あわてず、あせらず、待つ余裕
3. ひろがるな！ 参加者だけの道じやない
4. 自分のゴミ、自分の責任持ち帰り
5. 歩かせて、いただく土地に感謝して・・・



# まちなか里山ブイブイの森

〈ホームページ等から引用〉

ブイブイの森(南公園)：三田市狭間が丘1丁目に位置する面積15.1haを有する風致公園「南公園」の愛称で、フラワータウンに隣接している。ブイブイの森は、三田市のニュータウン開発(フラワータウン)の以前から残る三田の自然・環境・生物相を残す貴重な植生で、三田市の緑の基本計画では三田市の貴重な数ある自然地点のうちの一つとして位置づけられている。

南公園の面積約5割をコナラ二次林が占める夏緑二次林型の里山林であり、少なくとも273種の植物が分布している。この様な豊かな生物多様性を育んでいる南公園ではあるが、調査ではコナラ二次林の林内は照葉樹の繁茂が進み暗い環境が広がっている事、南公園にあるモウソウチクやマダケの竹林が面積を拡大する傾向にあり、コナラ二次林内に進入している事なども確認され、このまま管理が放棄されると南公園の豊かな生物多様性が損なわれる可能性が高い事も明らかになった。

そこで、生物多様性の保全を基礎におきつつ、ニュータウンに隣接している特性を活かして、地域の景観を楽しみ、身近な自然を学べる環境学習の場としての機能を有する「まちなか里山」として整備する基本方針を平成24年度末に三田市が定め、以後、環境整備や里山管理を強化する事となる。

南公園は風致公園であったため、散策道や里山管理道などが整備されておらず、市民が立ち入れない場となっていた。そこで平成25年度には三田市によって遊歩道や看板の設置、枯れ木、倒木除去、の整備が行われ今では市民の里山になっている。

(三田市キッピー使用許可NO. 31-4)

